ダイヤル式 デジタル オートマチック蛇口タイマー

取扱説明書

model #62040/#66771

製品仕様

・稼動温度:0～50℃
・保管温度:ー10～60℃
・使用電池:アルカリ単3電池
　3個（製品には含まれていません。1年に1回の目安でお取替え下さい）
・稼動水圧:0.04Mpa～0.56Mpa
・流量:10.2～68.4リットル/分
・サイズ:縦125mm×横148mm×奥行45mm

主な製品機能

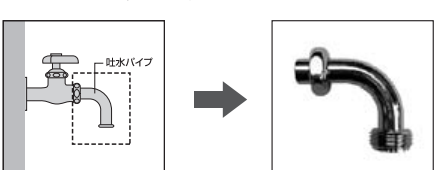
・散水のスタート時間が設定できます。
・散水の頻度と散水する長さが設定できます。
・散水の頻度は1回のみ、1日1、2、3、6、12回、2日に1回、3日に
　1回、4日に1回、1週間に1回の選択ができます。
・散水する長さは2、5、10、15、30、60, 120分の選択ができ、
　また手動で好きなだけ散水することもできます。

先ず最初にタイマーを取り付ける蛇口を確認してください

1.蛇口タイマーは、地面から30cm以上の高さにある蛇口に取り付けます。従って壁面や立水栓の蛇口には取り付けられますが、地中埋め込みの散水栓には取り付けられません。

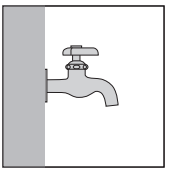
2.タイマーを取り付けるためには、蛇口の吐水口に3/4″（20mm）のインチ山オスネジが必要です。既存の蛇口にこのねじ山がない場合は下記を参照しJ2001 3/4″ねじヤマ付蛇口吐水パイプかJ2001 3/4″ねじヤマ付蛇口タイプをお求め下さい。

■取り外しのできる回転式吐水パイプのついた万能ホーム水栓*の場合
*TOTO、カクダイ、INAX、KVK、MYM、サンエイなど主要メーカーの製品



●J2010 3/4” ねじヤマ付
吐水パイプにつけかえる。

■一体型の横水栓の場合



●J2001 3/4”ねじヤマ付き蛇口に取り替える。

※上記以外の蛇口や塩ビ管に取り付けたい場合、弊社までお問い合わせ下さい。

蛇口にタイマーを取り付ける

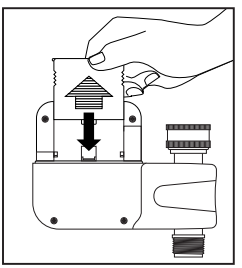
タイマーを取り付ける前に一度蛇口を開いて水を流してください。取扱説明書の最初にご説明した3/4”（20mm）インチ山オスネジのついた蛇口にタイマーの上部3/4”（20mm）インチ山メスネジをまわしながらしっかりと接続させてください。

タイマー設定の手順

ステップ1：タイマーに電池をセットする。
ステップ2：タイマーの時刻をセットする
ステップ3：散水のスタート時間をセットする
ステップ4：散水の頻度をセットする
ステップ5：散水する長さをセットする
ステップ6：テスト

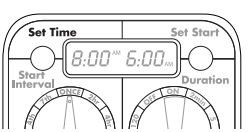
ステップ1　乾電池をセットする

1. 半透明のタイマーカバーを上にスライドさせて外します。
2.タイマーの裏側の電池ボックスを矢印の方向にスライドさせボックスを取り外し、単3アルカリ乾電池3個をセットしてください。（約1年稼働します）
3.ボックスをタイマーの元の位置に戻します。



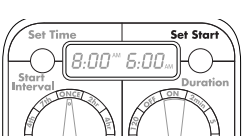
ステップ 2　時刻の設定

左上部の「SET TIME」ボタンを押し、現在の時刻を設定します。ボタンは押し続けると早く進みます。時刻の午前/午後はそれぞれam/pm表示となっています。



ステップ 3　散水開始時間の設定

右上部の「SET START」ボタンを押し、散水開始時間を設定してください。ボタンは押し続けると早く進みます。時刻はam（＝午前）/pm（＝午後）表示となっています。

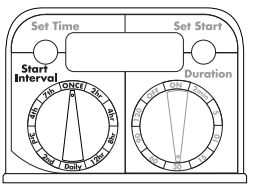


ステップ 4　散水頻度の設定

左のダイヤル（「Start Interval」）を回して、散水頻度の設定を行ってください。頻度は下記の通りです。

設定された散水開始時間より…

「2hr」…2時間おき、「4hr」…4時間おき、「8hr」…8時間おき、
「12hr」…12時間おき（1日2回）、
「DAILY」…1日1回、「2nd」…2日に1回、「3rd」…3日に1回、
「4th」…4日に1回、「7th」…1週間に1回、「ONCE」…1度のみ

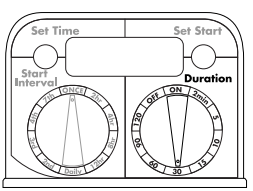


自動散水設定後、散水頻度のみを変更したい場合はこの左のダイヤルのみを回し、ご希望の散水頻度にダイヤルを合わせてください。

ステップ 5　散水時間の長さ設定

右のダイヤル（「Duration」）を回して、散水時間の長さを設定してください。散水時間は下記の通りです。

「2min」…2分間、「5」…5分間、「10」…10分間、「15」…15分間、
「30」…30分間、「60」…60分間、「90」…90分間、「120」…120分間
「ON」・・バルブ（弁）が開いた状態。散水し続けます。
「OFF」・・バルブ（弁）が閉まった状態。散水を中止/停止します。



自動散水設定後、散水時間のみを変更したい場合はこの右のダイヤルのみを回し、ご希望の散水時間にダイヤルを合わせてください。

ステップ 6　テスト

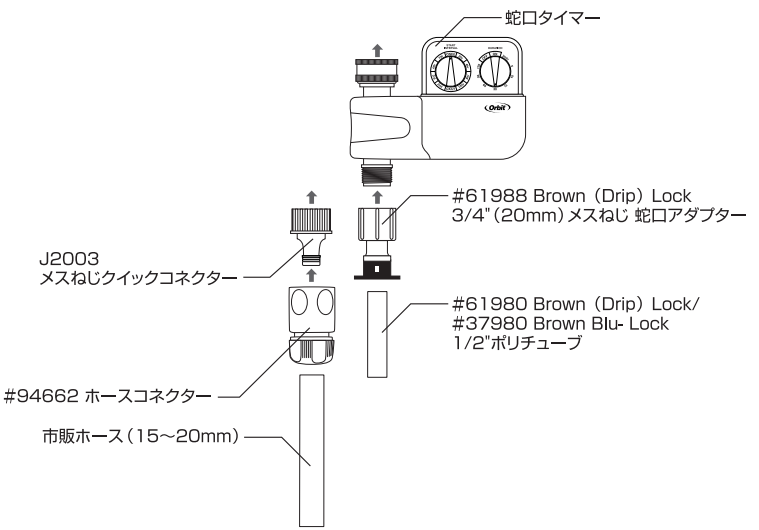
タイマーが稼動し、水が流れるかどうかのテストを行います。右のダイヤルを「ON」にあわせ、水が流れればタイマーは正常に稼動しています。確認したら右のダイヤルを「OFF」にすると水が止まります。自動散水に戻すには、もう一度右のダイヤルで散水する長さをもう一度設定してください。

自動散水の状態の確認

左のダイヤルで散水頻度（「ONCE」以外）が設定されており、右のダイヤルで散水する長さ（「ON」、「OFF」以外）が設定されていれば、自動散水の状態となっています。

最後に、タイマーになにを接続するか

タイマーからの配水ラインになにを使用するかによって、接続部品が異なります。弊社の#61980 1/2" Brown(Drip)Lock または#37980 Blu-Lock 1/2" ポリチューブや市販のホース（外径15～20mm）を接続する場合は下記を参照して、接続部品をご用意下さい。



塩ビ管等その他のチューブを配水ラインに使用する場合は、弊社までご相談下さい。

手動散水を行いたいとき
右のダイヤルを「ON」に合わせます。バルブが開き散水を始めます。「OFF」にすると散水を中止します。ダイヤルを「ON」にし散水を始めた後、右のダイヤルを希望の散水時間に合わせると、その時間だけ散水が行われ自動的に止まります。
[**注**] タイマーを手動散水に設定後、作動するまでに2、3秒かかる場合があります。

1回だけ散水を行いたいとき
左のダイヤルを「ONCE」に合わせると、右のダイヤルで設定された時間、1回のみ散水を行います。散水後はダイヤルを設定しない限り散水は行いません。自動散水に戻したいときは、左のダイヤルで頻度を設定してください。

散水を停止したいとき
右のダイヤルを「OFF」に合わせると全ての散水を停止します。自動散水に戻したいときは、右のダイヤルで散水する長さを設定してください。

◎注意する点

- タイマー設定後はプラスチックのタイマーカバーを必ず付けてください。カバーがないと雨がタイマー内に入りタイマーを損傷する原因となります。
- 電池の残量が散水を作動するのに満たない場合、バルブが閉じるようになっています。電池の残量が少ない場合は、電池を交換してください。通常アルカリ電池で1年間保ちます。
- 凍結の恐れがある時期はタイマーを取りはずすか、凍結防止対策を行ってください。タイマー内の水が凍結するとバルブを破裂させ、水漏れの原因となります。

タイマーを蛇口から取り外すとき

1.蛇口を閉めて下さい。
2.タイマーを蛇口から外し、またタイマーの下部に接続されているホースやチューブをタイマー外します。
3.右のダイヤルの「ON」、「OFF」をくり返しタイマーのなかの水を抜いてください。
4.電池を抜き取ります。

Q&A

Q 「**ON**」にしても「**カッチ**」と音はするけど水が出ない。

A **1.**元の蛇口が開いていない。
2.水圧が低すぎる。
3.配水管に使用するポリチューブが蛇口アダプターのなかに深く入りすぎている。

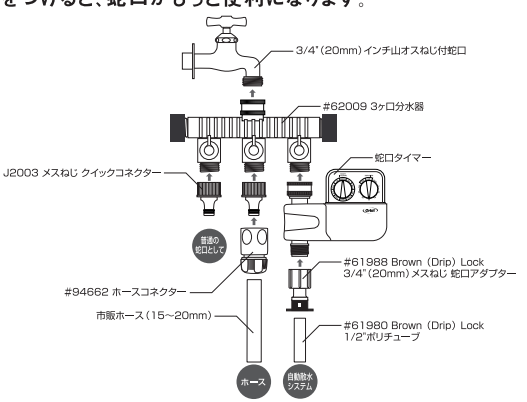
Q 「**ON**」しても「**カッチ**」と音がせず、水が出ない。

A 電池の残量が少ない。

Q 散水が終わる時間が過ぎても散水が止まらない。

A スプリンクラーなどの散水製品からの吐水量が少なすぎる。

■分水器をつけると、蛇口がもっと便利になります。



green.com
グリーン.コムジャパン 株式会社
〒167-0054 東京都杉並区松庵1-22-21
TEL:03-3334-5741 FAX:03-3334-5739
e-mail:cust@greendotcom.jp
www.greendotcom.jp